

福山市民病院経営強化プランの点検及び評価について

(1) 趣旨

「福山市民病院経営強化プラン」について点検及び評価を実施し、その結果について報告するもの。

(2) 点検及び評価の対象

2024年度（令和6年度）の指標の達成状況とその取組

(3) 点検及び評価の方法

ア 点検及び評価の視点

各指標について、その達成状況から「達成」「概ね達成」「やや未達成」「未達成」の4段階で評価

イ 福山市民病院経営強化プラン評価懇談会の開催（11月5日開催）

地域医療団体の代表者、学識経験を有する7名の者から意見を聴取

(4) 2024年度（令和6年度）の主な取組

ア 病院増改築事業の推進

- ・周産期母子医療センターの整備、外来化学療法室増床
- ・新本館Ⅰ期の免震装置の設置・現場見学会の開催

イ 診療報酬請求の適正化及び精度の向上

- ・2024年度（令和6年度）診療報酬改定への対応
- ・医療費連帯保証人代行制度の導入

ウ DPC制度への対応の強化

- ・新規クリニカルパスの導入

エ 入退院支援の強化による病棟運営の効率化と病床利用率の向上

- ・病院訪問の継続・拡大及び地域医療連携のつどいの開催
- ・入院前から入退院を支援するPFM（Patient Flow Management）の運用・拡充

オ 材料の適正化

- ・共同購入組織への材料切替・集約
- ・薬品卸業者への価格交渉の実施

カ 委託契約などの契約内容の適正化

- ・電気使用量削減のためLED照明への取替及びペーパーレス化の取組

キ 人材育成の強化

- ・ロボット手術など医療をテーマにした市民公開講座の実施
- ・特定行為看護師の養成

ク 経営意識の強化

- ・病院経営に関する有識者を招いた院内研修会の開催
- ・全職員に対して、経営状況に関する資料を用いた研修の実施

(5) 2024年度（令和6年度）の経営強化プランの評価

ア 評価区分

A	達成	数値目標に対して、達成率が100%以上
B	概ね達成	数値目標に対して、達成率が95%以上～100%未満
C	やや未達成	数値目標に対して、達成率が90%以上～95%未満
D	未達成	数値目標に対して、達成率が90%未満

イ 医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標

指 標	目 標	実績	差	達成率	評価
救急車受入件数（件）	4,250	4,263	13	100.3%	A
院内分娩数（件）	250	258	8	103.2%	A
手術室手術件数（件）	5,850	5,201	△ 649	88.9%	D
がん手術件数（件）	2,370	2,384	14	100.6%	A
クリニカルパス使用率（患者数）（%）	54.0	52.9	△ 1.1	98.0%	B
紹介率（地域医療支援病院）（%）	82.0	80.3	△ 1.7	97.9%	B
逆紹介率（地域医療支援病院）（%）	160.0	164.4	4.4	102.8%	A
臨床研修医採用数（人）	12	12	0	100.0%	A

※手術室手術件数は、眼科の一部処置を手術室外で実施することとした影響によるもの

ウ 経営指標等に係る数値目標

指 標	目 標	実績	差	達成率	評価
経常収支比率（%）	94.6	93.3	△ 1.3	98.6%	B
修正医業収支比率（%）	94.3	92.5	△ 1.8	98.1%	B
入院延べ患者数（人）	151,475	148,994	△ 2,481	98.4%	B
外来延べ患者数（人）	216,414	220,725	4,311	102.0%	A
入院患者診療単価（円）	94,993	91,616	△ 3,377	96.4%	B
外来患者診療単価（円）	27,977	27,892	△ 85	99.7%	B
病床利用率（%）	83.0	81.5	△ 1.5	98.2%	B
平均在院日数（日）	9.0	9.3	0.3	96.8%	B
給与費対修正医業収益比率（%）	50.2	52.5	2.3	95.6%	B
材料費対修正医業収益比率（%）	35.5	34.7	△ 0.8	102.3%	A
企業債残高（千円）	15,426,482	14,521,382	△ 905,100	106.2%	A

※修正医業収支比率は、医業収益から一般会計負担金を除いたものを医業費用で除いたもの

※病床利用率の対象病床数は、感染症病床（6床）を除いた病床数による

(6) 福山市民病院経営強化プラン評価懇談会における主な意見

区 分	意 見
<p>1 福山市民病院経営強化プランの実施状況の点検及び評価について</p>	<p>1 診療材料費の共同購入について、どのような取組を行っているのか。 (回答) 診療材料については、全国の中規模以上の急性期病院が多数加盟する共同購入組織の購買力を利用し、還元金や価格引き下げなどの値引き効果を得ることで、大きなコスト削減効果を達成できた。</p> <p>2 今後も建設物価の上昇が予想されるなか、長期にわたる増改築事業における事業費への影響について、どのように対応していく考えか。 (回答) 現在、工事に着手しているが、施工段階における技術的な見直しや設備仕様の工夫など、可能な限りのコスト縮減に継続的に取り組んでいる。 加えて、交付金や国庫補助制度といった国の財政支援を最大限活用した財源確保にも注力しており、引き続き、病院事業として大きなコスト負担が生じないよう取り組んでいく。</p>
<p>2 福山市民病院への要望について</p>	<p>経営状況が厳しい中でも、市民ニーズに応えていく姿勢があり頼もしく思う。今後も現在の方向性で取り組んでいただきたい。</p>